

2011年3月30日

「第9回日本環境経営大賞」環境経営部門で最高位の
『環境経営パール大賞』を受賞しました。

日本興亜損害保険株式会社（社長：兵頭 誠）は、「第9回日本環境経営大賞」（主催：日本環境経営大賞表彰委員会、三重県／後援：環境省、経済産業省ほか）において、環境経営部門での最高位である「環境経営パール大賞」を受賞しました。

「日本環境経営大賞」は、持続可能な社会の実現に向け、「環境経営の発展」と「環境文化の創造」を進めるため、2002年度に設けられたもので今回、第9回目を迎えますが、「環境経営パール大賞」の受賞は保険業界初となります。



今回の受賞は、自動車保険のご契約時に約款をインターネットでご確認いただく「Eco-Net 約款」をご選択いただいた場合に実施しているカーボンオフセットの仕組み導入など、弊社の環境保全取組が環境・経済・社会の3側面において持続可能性の高い経営につながっていると高く評価されたものです。

弊社では、引き続き低炭素社会への転換を後押しするような保険の開発や環境配慮行動を促す保険商品・サービスの提供など、持続可能な社会の実現・発展に向け企業としての責務を率先して果たしてまいります。

【ご参考】

「Eco-Net 約款」は弊社が1件につき50円を負担して排出権を購入し日本政府に無償譲渡（寄付）する仕組みですが、東北地方太平洋沖地震で被災された方々の支援を目的に、2011年5月から2011年9月までの期間は、これを義援金として寄付することとします。

以上